



2021年3月期 決算説明会

株式会社 マキタ
取締役社長 後藤 宗利

2021年5月11日

1



2021年3月期 連結業績

前期比

売上収益	6,083億円	+23.5%
国内売上	1,130億円	+12.3%
海外売上	4,953億円	+26.4%

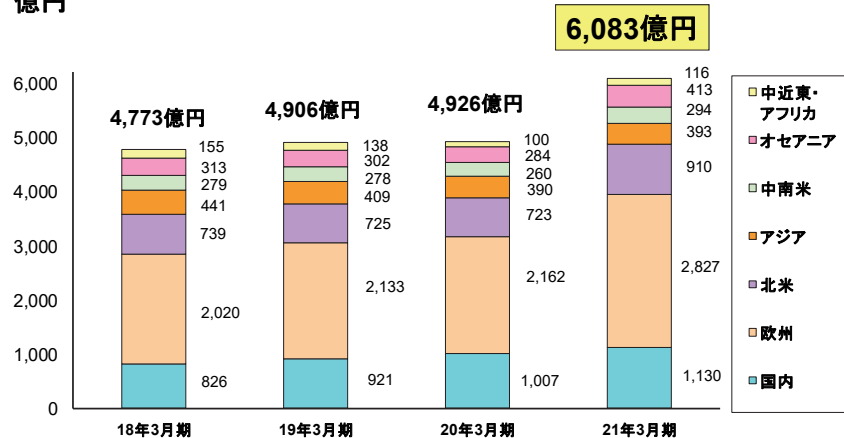
海外比率 81.4% (前期 79.6%)

2

地域別売上収益(通期推移)



億円



3

為替レートの実績



	20年3月期	21年3月期	
米ドル	¥ 108.70	¥ 106.10	2.4%の円高
ユーロ	¥ 120.81	¥ 123.76	2.4%の円安
人民元	¥ 15.60	¥ 15.68	0.5%の円安

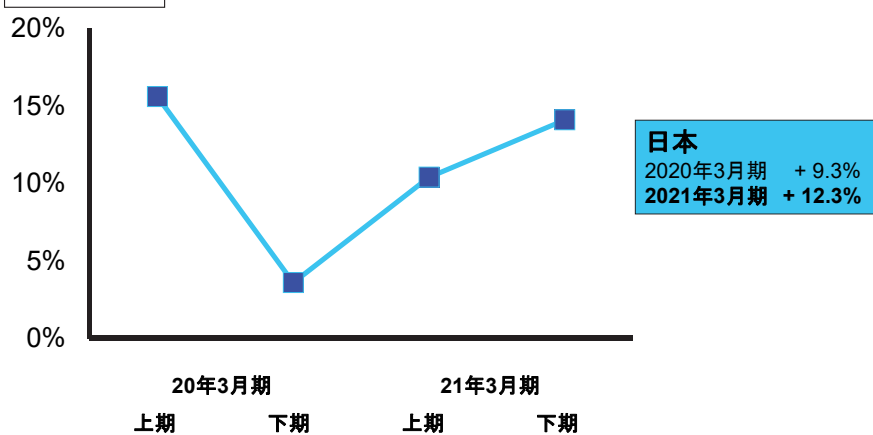
全通貨の加重平均で 1.7%の円高
売上収益の減少額 87億円

4

現地通貨ベース売上動向



日 本



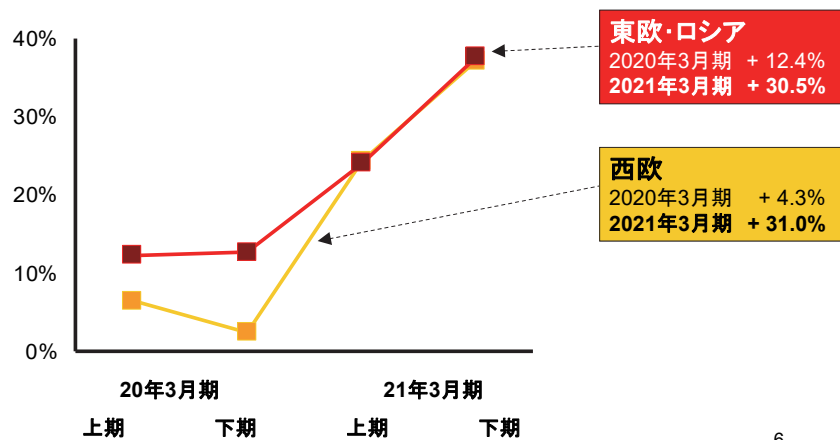
5

現地通貨ベース売上動向



欧 州

前期比伸び率 + 30.8%

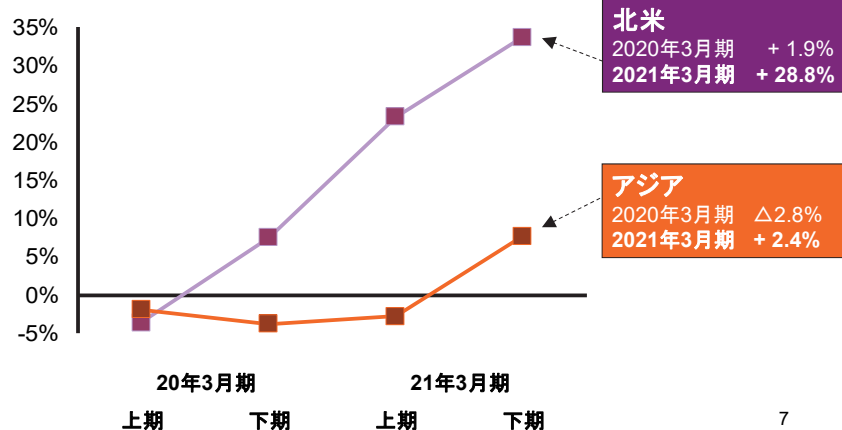


6

現地通貨ベース売上動向



北米・アジア

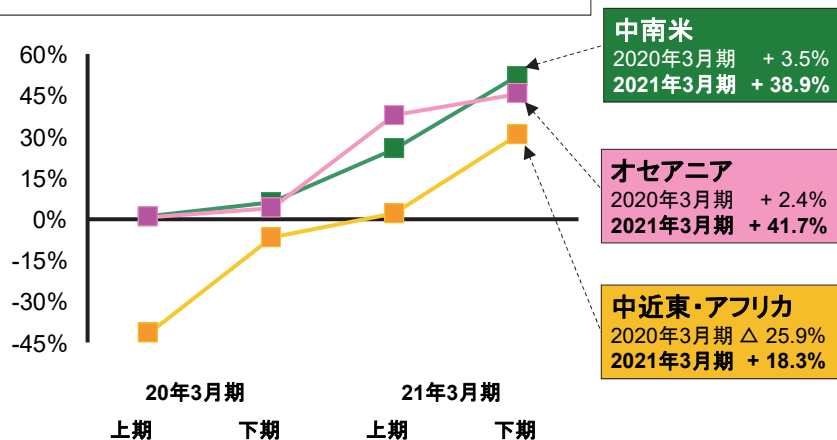


7

現地通貨ベース売上動向



中南米、オセアニア、中近東・アフリカ



8

園芸用機器(OPE)



20モデル以上を新発売



40Vmaxシリーズに
充電式OPEもラインアップ



9

リチウムイオンバッテリー製品



製品ラインアップを拡充



作業性を追求、
使いやすさの頂点へ
充電式インパクトドライバ



高速切断&
圧倒的な低振動
充電式マルチツール



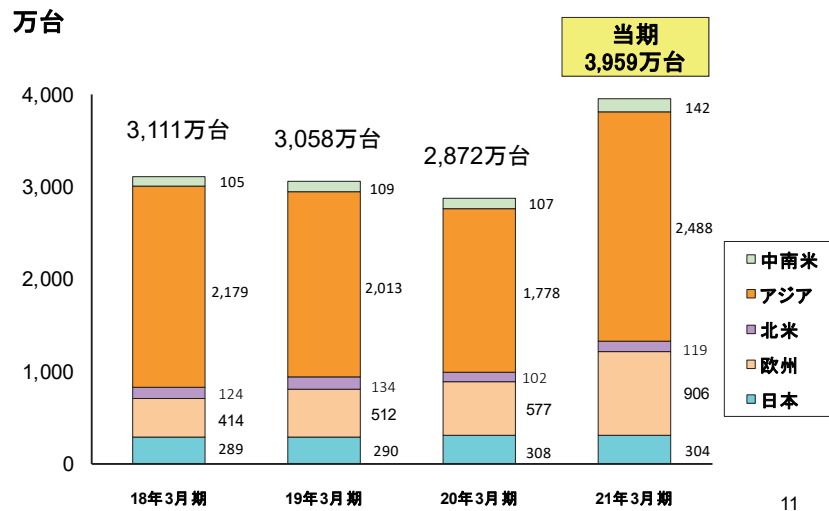
60モデル以上を
新発売

40mm充電式仕上釘打 充電式ハンマ



10

地域別生産台数



棚卸資産(在庫)



2020年3月末 2,146億円

2021年3月末 2,675億円

529億円増加

〔 内訳：実在庫 360億円増加
為替の影響 169億円増加 〕

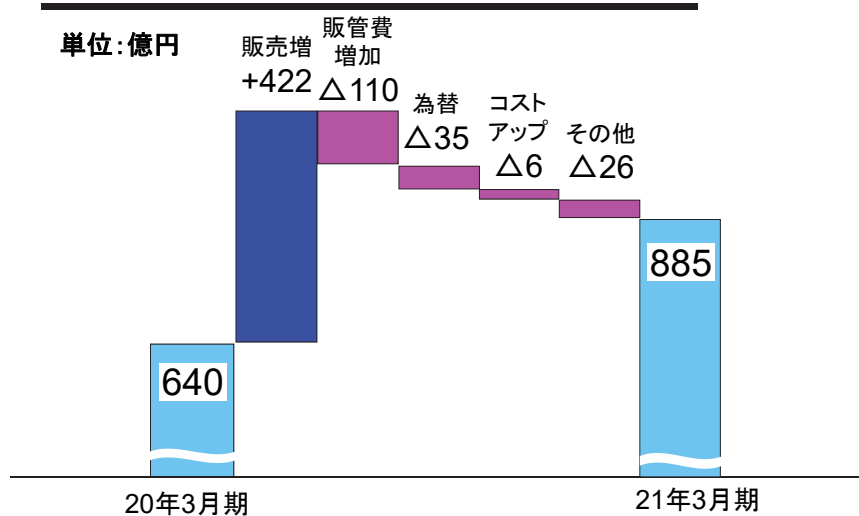
営業利益・売上原価・販管費



	20年3月期	21年3月期	前期比
売上収益	4,926億円	6,083億円	+23.5%
売上原価	3,238億円	4,053億円	+25.2%
売上原価率	65.7%	66.6%	0.9ポイント上昇
販管費	1,048億円	1,146億円	+9.3%
販管費率	21.3%	18.9%	2.4ポイント低下
営業利益	640億円	885億円	+38.1%
営業利益率	13.0%	14.5%	1.5ポイント上昇

13

営業利益増減要因



14

金融収益・税引前利益・当期利益



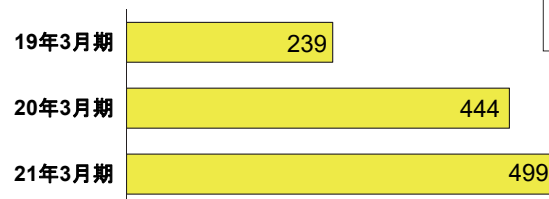
	20年3月期	21年3月期	前期比
金融収益 (△費用)	20億円	△13億円	△ 33億円
税引前利益	660億円	872億円	+ 32.1%
親会社の所有者に 帰属する当期利益	477億円	620億円	+ 29.9%
EPS	175.80円	228.41円	+ 29.9%

15

設備投資・減価償却費・研究開発費



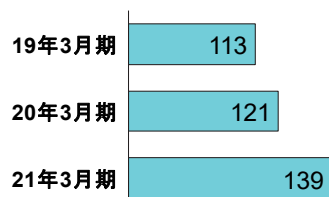
設備投資 単位:億円



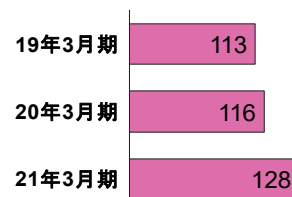
2021年3月期の主な設備投資

日本 : 物流倉庫(岡崎工場、埼玉)
中国工場 : 新工場建設

減価償却費 単位:億円



研究開発費 単位:億円



16



マキタの取組み

- 充電製品メーカーに向けて(環境対応)
- 販売・サービス、物流拠点の拡充
- コーポレート・ガバナンスの強化

17

マキタの取組み

ESG



充電製品メーカーに向けて



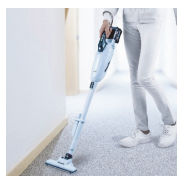
電動工具



園芸用機器



清掃製品



野外用機器



18



マキタの取組み ESG



販売・サービス、物流拠点の拡充

新設した主な拠点

地域	都市名
日本	岡崎工場 新物流棟 諫早(長崎)など5営業所 ※2021年4月に2営業所を新設
欧州	ハンブルク(ドイツ) リヨン(フランス)
北米	リノ(アメリカ)
アジア	宜蘭、台南など(台湾) グワハティ(インド)
中南米	サンパウロ(ブラジル)
オセアニア	タウンズビル(オーストラリア) ウェリントン(ニュージーランド)



岡崎工場 新物流棟

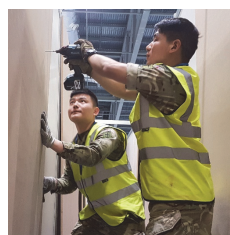
21

マキタの取組み ESG



販売・サービス、物流拠点の拡充

豊かな街づくり・生活づくりに
必要不可欠な製品・サービスの
迅速な提供



臨時医療施設の建設現場で
使用される当社製品

「顧客密着・地域密着」

世界各地で
持続可能な社会の実現に貢献



22

マキタの取組み ESG



コーポレート・ガバナンスの強化

2020年12月

- 指名・報酬委員会の設置

2021年6月株主総会後(予定)

- 監査等委員会設置会社への移行
- 社外取締役比率:1/3

「Strong Company」の実現に向けた体制強化

23

業績の見通し・配当



- 売上予想
- 営業利益(予想)増減要因
- 業績予想
- 生産計画
- 配当

24

2022年3月期 売上収益予想



前期比

売上収益	6,100億円	+0.3%
国内売上	1,140億円	+0.8%
海外売上	4,960億円	+0.1%
海外比率 81.3% (21/3 81.4%)		

想定為替レート

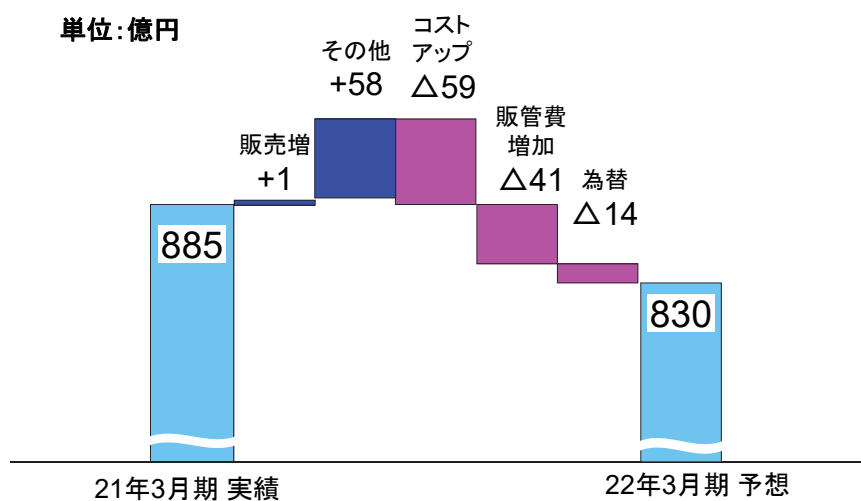
米ドル	ユーロ	人民元
105円	125円	16.2円

25

営業利益(予想)増減要因



単位:億円



26

2022年3月期 通期業績予想



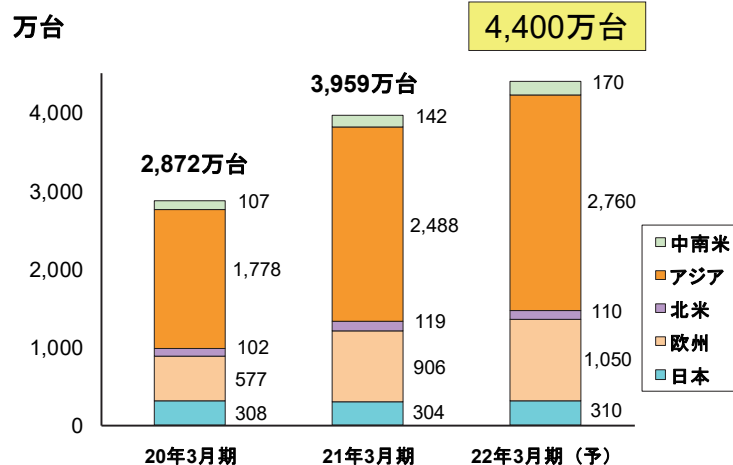
	21年3月期	22年3月期	前期比
営業利益	885億円	830億円	△6.2%
税引前利益	872億円	823億円	△5.6%
親会社の所有者に 帰属する当期利益	620億円	590億円	△4.9%
EPS	228.41円	217.29円	△4.9%

22年3月期 設備投資・減価償却費・研究開発費

設備投資	減価償却費	研究開発費
750億円	162億円	145億円

27

生産計画



28

配当



基本方針	連結配当性向 30%以上	
	21年3月期	22年3月期
親会社の所有者に帰属する当期利益	620億円	590億円
EPS	228.41円	217.29円
特殊要因（税引後）	—	—
1株当たり年間配当金	69円	未定(注)
中間配当	10円	10円
期末配当	59円	未定(注)
配当性向	30.2%	30%以上

(注)2022年4月開催予定の取締役会で連結配当性向30%以上となる配当案を決定。

29



ここで記載されている見通しは、将来の業績に関する見通しであり、現在入手可能な情報から得られた当社の判断に基づいております。実際の業績は、様々な重要な要素により、これらの業績見通しとは大きく異なる結果となり得ることをご承知おきください。

<https://www.makita.co.jp/>

30